

## 第33回法人会全国大会（長崎大会）に参加

第33回法人会全国大会が10月20日、長崎ブリックホールにて開催されました。懇親会場のホテルニュー長崎が7年前、翌年の全国青年の集い岩手大会のPRで参加した時と同じ会場で、当時の記憶が蘇りました。

当日は全国から約1,800名が参加し、岩手県からは8名参加のうち当会から大泉副会長以下3名が参加しました。

式典に先立ち、『「地方が生き残るために」～長崎 その歴史 その魅力 その未来～』と題し、カナダ出身で長崎総合科学大学教授のブライアン・バークガフニ氏の講演がありました。グラバー園ゆかりの人々の研究、長崎の歴史、文化を伝える活動を通じて外国人の視点のみならず日本人より日本らしい感性で、所々駄洒落と長崎弁を交えながらの楽しく、感動的な講演でした。

式典は長崎県連・宮協会長から歓迎の挨拶、国税庁長官、長崎県知事・長崎市市長等による来賓挨拶があり、その後会員増強、研修参加率向上、福利厚生制度推進の各部門の表彰がありました。続いて柳田全法連税制委員長から平成29年度税制改正に関する提言の趣旨説明が行われ、平成29年度税制改正スローガン、さらに大会宣言として『平成28年度税制改正により法人税実効税率20%台が実現し、大きな前進が図られたが、真の経済再生のためには、地域経済と雇用を担う中小企業の力強い成長を促す税制の確立が不可欠であり、われわれ法人会は、「中小企業の活性化に資する税制」、「本格的な事業承継税制の創設」』等を中心とする平成29年度税制改正に関する提言の実現を強く求めるものであると宣言を行いました。

式典終了後は、会場をホテルニュー長崎に移し、長崎女子高蛇踊（じゃおどり）部による迫力のある歓迎の演舞をはじめ、会場が溢れんばかりの大変賑わいのある懇親会が開催されました。

（藤村吉隆記）

